

金沢学院大学

2024 (令和 6) 年度 入学者選抜試験問題

一般選抜 I 期 < 1 日目 >

2024 年 1 月 31 日 (水) 実施

日本史

I 注意事項

1. 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答用紙の解答科目欄に「日本史」と記入・マークしてから解答してください。
3. 問題は 1 ページから 8 ページまであります。
4. 問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用することは法律で禁じられています。

II 解答上の注意

解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の 2 種類があります。マーク式の問題で、「解答番号は 」と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の例のようにマークしてください。記述式の問題には「解答は 」と表示がありますので、記述式の解答用紙に記入してください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

問題は次のページからです。

第1問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

6世紀の古墳時代後期になると、古墳自体に大きな変化が現われた。従来の竪穴式の埋葬施設にかわって朝鮮半島と共通の横穴式石室が一般化する。横穴式石室は、死者をおさめる墓室である(ア)に加え、(ア)と墳丘外部を結ぶ羨道をもつ構造であり、(イ)が可能なのが竪穴系の埋葬施設と異なる。横穴式石室では、(A)新しい葬送儀礼にともなう多量の土器の副葬が始まった。また、墓室を丘陵や山の斜面に掘り込んだ(ウ)が各地に出現した。埴輪も人物埴輪・動物埴輪などの形象埴輪がさかんに用いられるようになる。さらに九州北部の古墳には石の埴輪である(エ)なども立てられ、九州各地や茨城県・福島県などの古墳や(ウ)の墓室には彩色あるいは線刻による壁画をもつ装飾古墳がつくられるなど、古墳の地域的特色が強くなった。

一方、5世紀後半から6世紀には古墳のあり方にも変化がみられる。近畿中央部では大規模な前方後円墳が依然として営まれたのに対し、それまで(B)近畿について巨大な前方後円墳を営んだ吉備地方などで、大きな古墳がみられなくなった。これは各地の豪族が連合して政権をつくる形から、大王を中心とした近畿地方の勢力に各地の豪族が服属する形へと、(C)ヤマト(大和)政権(王権)の性格が大きく変化したことを示している。

6世紀末から7世紀初めになると、各地の有力な首長たちが営んでいた前方後円墳の造営が終わる。その後も古墳の造営は100年間ほど続き、考古学ではこの時期を古墳時代終末期と呼んでいる。7世紀中頃になると、近畿の大王の墓が(オ)になった。これはそれまで、規模は大きいが各地の首長層と同じ前方後円墳を営んでいた大王が、大王にのみ固有の(オ)を営んで、一般の豪族層を超越した存在であることを墳墓のうえでも示そうとしたものであろう。

問1 文中の(ア)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 玄室 ② 支石墓 ③ 粘土槨 ④ 陪冢(塚)

問2 文中の(イ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 火葬 ② 屈葬 ③ 伸展葬 ④ 追葬

問3 文中の(ウ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 甕棺墓 ② 方形周溝墓 ③ 八角墳 ④ 横穴(横穴墓)

問4 文中の(エ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 石人 ② 石棒 ③ 石棺 ④ 葺石

問5 文中の（オ）に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 5

- ① 甕棺墓 ② 方形周溝墓 ③ 八角墳 ④ 横穴（横穴墓）

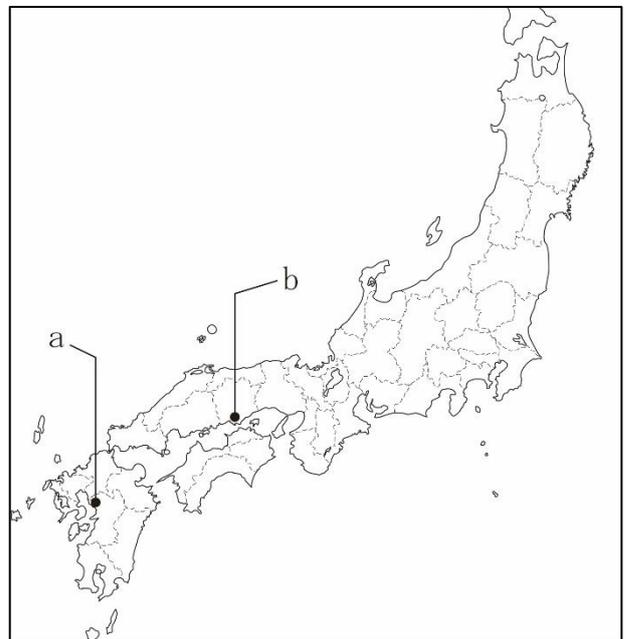
問6 文中の下線(A)では、5世紀に朝鮮半島から製作技術が伝えられた硬質で灰色の土器も多く用いられたが、その土器として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は 6

- ① 土師器 ② 須恵器 ③ 青磁 ④ 白磁

問7 文中の下線(B)の事例として、墳丘の長さが360mほどあり、日本列島の古墳の中で第4位の規模をもつ古墳の名称とその位置を示す地図中のaまたはbの組み合わせとして適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 7

- ① 江田船山古墳 — a
② 江田船山古墳 — b
③ 造山古墳 — a
④ 造山古墳 — b



問8 文中の下線(C)は、氏姓制度により、豪族を大王中心の支配体制下に組み入れていった。豪族たちは血縁やその他の政治的関係をもとに構成された氏と呼ばれる組織に編成され、氏単位にヤマト政権の職務を分担し、大王は彼らに姓を与えたが、氏(X)と姓(Y)の組み合わせとして**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 8

- ① X：葛城 Y：臣 ② X：蘇我 Y：連
③ X：平群 Y：臣 ④ X：物部 Y：連

問9 文中の下線(C)が発展する過程では、地方豪族の抵抗もあった。このうち、6世紀初めに新羅と結んで大規模な戦乱をおこした磐井はある地方の豪族であったが、その地方として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 9

- ① 毛野 ② 丹後 ③ 筑紫 ④ 日向

第2問 次の史料文Ⅰ・Ⅱを読み、下の問いに答えよ。

Ⅰ 上天の眷命せる(A)大蒙古国皇帝、書を(B)日本国王に奉る。朕惟ふに、古より小国の君は境土相接すれば、尚ほ講信修睦に務む、況んや(C)我が祖宗、天の明命を受け、区夏を奄有す。遐方異域の威を畏れ徳に懐く者、悉く数うべからず。(中略)(ア)は朕の東藩なり。日本は(ア)に密邇し、開国以来、亦時として中国に通ぜり。朕が躬に至りては、一乗の使も以て和好を通ずること無し。尚ほ王の国これを知ること未だ審ならざるを恐る。故に特に使を遣はし、書を持して朕が志を布告せしむ。冀わくば今より以往、問を通じ好を結び、以て相に親睦せん。且つ聖人は四海を以て家と為す。相に通好せざるは、豈に一家の理ならんや。(イ)を用ふるに至りては、夫れ孰か好む所ならん。王其れこれを図れ。不宣。

至元三年八月 日

(『東大寺尊勝院文書』)

Ⅱ 一 質券売買地の事

右、所領を以て或いは質券に入れ流し、或いは売買せしむるの条、御家人等侘僂の基なり。向後に於いては、停止に従ふべし。以前沽却の分に至りては、本主領掌せしむべし。但し、或いは御下文・下知状を成し給ひ、或いは知行(ウ)箇年を過ぐるは、公私の領を論ぜず、今更相違有るべからず。若し制符に背き、濫妨を致すの輩有らば、罪科に処せらるべし。

次に非御家人・(D)凡下の輩の質券買得地の事。年紀を過ぐと雖も、売主知行せしむべし。

(『東寺百合文書』)

問1 文中の(ア)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

10

- ① 百済 ② 高麗 ③ 新羅 ④ 朝鮮

問2 文中の(イ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

11

- ① 鬼道 ② 三宝 ③ 銭 ④ 兵

問3 文中の(ウ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

12

- ① 五 ② 十 ③ 十五 ④ 廿(二十)

問4 文中の下線(A)として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

13

- ① 阿豆流為 ② コシャマイン ③ フビライ=ハン ④ 李成桂

問 5 史料文 I の文末にある「至元三年」は西暦 1266 年にあたるが、文中の下線(B)を当時の天皇と考えた場合に適当なものを、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は

- ① 亀山天皇 ② 後亀山天皇 ③ 後白河天皇 ④ 白河天皇

問 6 文中の下線(C)のうち、下線(A)の祖父にあたる人物として適当なものを、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は

- ① 阿知使主 ② シャクシャイン ③ チンギス = ハン ④ 李舜臣

問 7 文中の下線(D)のうち、高利で金銭を貸与して利子をとった金融業者として適当なものを、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は

- ① 借上 ② 問丸 (問) ③ 馬借 ④ 両替商

問 8 史料文 I による下線(A)からの要求を拒否した日本は 2 度にわたる侵略を受けたが、これに関する説明や出来事として**適当でないもの**を、①～④の中から 1 つ選べ。
解答番号は

- ① この 2 度にわたる侵略の時に執権を務めていたのは、北条時宗であった。
② 最初の侵略後、九州の御家人にはじめて異国警固番役を課した。
③ 2 度目の侵略後、九州の軍事・行政・裁判を統括するために、鎮西探題がおかれた。
④ 2 度の侵略を契機として、幕府は御家人以外の武士も動員する権利を獲得した。

問 9 史料文 II に関する説明や出来事として**適当でないもの**を、①～④の中から 1 つ選べ。
解答番号は

- ① 史料文 II の背景には、貨幣経済の本格化や分割相続による御家人の所領細分化などがあった。
② 史料文 II によって、幕府は御家人の所領の質入れや売買を禁止した。
③ 史料文 II によって、御家人は原則として、以前に質入れ、売却した土地を無償で取り戻した。
④ 史料文 II ののち、幕府は金銭貸借についての訴訟を受け付けず、当事者間で解決させる相対済し令を出した。

第3問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

江戸時代にはいり、儒学は興隆期をむかえることとなる。(A)朱子学は、京都相国寺の僧であった(ア)や、その門人で徳川家康の侍講となった(イ)によってひろめられた。(イ)の子孫は代々儒者として幕府に仕え、(イ)の孫である(ウ)のとき以来代々大学頭に任ぜられて幕府の文教政策にあずかっている。(ア)を祖とする朱子学派は京学といわれ、その流れからは、加賀前田家に用いられたのちに徳川綱吉の侍講になった(エ)や、(エ)の門人である(オ)・(カ)らが出た。(オ)は徳川家宣・徳川家継の、(カ)は徳川吉宗のそれぞれ侍講として幕政にも関与している。

問1 文中の(ア)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 契沖 ② 藤原惺窩 ③ 本阿弥光悦 ④ 松永貞徳

問2 文中の(イ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 林鶯峰 ② 林子平 ③ 林鳳岡(信篤) ④ 林羅山(道春)

問3 文中の(ウ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 林鶯峰 ② 林子平 ③ 林鳳岡(信篤) ④ 林羅山(道春)

問4 文中の(エ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 荻生徂徠 ② 木下順庵 ③ 中江藤樹 ④ 山崎闇斎

問5 文中の(オ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 新井白石 ② 伊藤仁斎 ③ 熊沢蕃山 ④ 山鹿素行

問6 文中の(カ)に適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 賀茂真淵 ② 太宰春台 ③ 塙保己一 ④ 室鳩巢

問7 文中の下線(A)が幕府や藩に受け入れられた理由を、下記の2語を使用して50字以内で説明せよ(ただし、句読点を含む)。使用する順番は問わない。また、必要であれば同じ言葉を繰り返して使用してもよい。解答は

使用する言葉： 上下、封建的秩序

問題は次のページに続きます。

問5 文中の下線(B)の説明として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 板垣退助を党首として結成され、フランス流の急進的な自由主義を唱え、主に地方農村を基盤とした。
- ② 大隈重信を党首として結成され、フランス流の急進的な自由主義を唱え、主に地方農村を基盤とした。
- ③ 板垣退助を党首として結成され、イギリス流の議院内閣制を唱え、主に都市の実業家や知識人に支持された。
- ④ 大隈重信を党首として結成され、イギリス流の議院内閣制を唱え、主に都市の実業家や知識人に支持された。

問6 文中の下線(C)の説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 天皇は神聖不可侵とされ、統治権のすべてを掌握する総攬者として位置付けられた。
- ② 天皇は文官・武官の任免、宣戦・講和や条約の締結などの大きな権限を有していた。
- ③ 作戦や用兵など陸海軍の統帥権は、内閣からも独立して天皇に直属していた。
- ④ 議会に比べて政府の権限が強く、予算の成立には議会の審議や同意を必要としなかった。

問7 文中の下線(D)は1881(明治14)年に大蔵卿に就任した。その在任中におこなわれた財政政策の説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 増税によって歳入の増加をはかり、一方で軍事費以外の歳出を徹底して緊縮した。
- ② 財政を緊縮して物価の引き下げをはかり、金輸出解禁を断行した。
- ③ 歳入の余剰で不換紙幣を処分するデフレ政策をとり、正貨の蓄積を進めた。
- ④ 中央銀行として日本銀行を設立し、国立銀行を普通銀行に転換させた。

問8 文中の(X)・(Y)に入る人名の組み合わせとして適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① X：伊藤博文 Y：品川弥二郎 ② X：伊藤博文 Y：小村寿太郎
- ③ X：山県有朋 Y：品川弥二郎 ④ X：山県有朋 Y：小村寿太郎

2024(令和6)年度 金沢学院大学
一般選抜 I 期 (1 日目 / 2024年1月31日実施)
解答例【マーク式】

日本史							
解答番号		正解	配点	解答番号		正解	配点
第1問	1	①	2	第3問	19	②	3
	2	④	2		20	④	3
	3	④	3		21	③	3
	4	①	3		22	②	3
	5	③	3		23	①	3
	6	②	3		24	④	3
	7	④	3	第4問	25	②	3
	8	②	3		26	④	3
	9	③	3		27	①	3
第2問	10	②	3		28	④	3
	11	④	2		29	④	3
	12	④	2		30	②	3
	13	③	3		31	③	3
	14	①	3				
	15	③	3				
	16	①	3				
	17	②	3				
18	④	3					

マーク	89
記述	11
計	100

2024年1月31日(水)

解答例

2024(令和6)年度 一般選抜I期 <1日目>

記述式解答用紙 「日本史」

受験番号		氏名	
志望学科	学科	専攻	専攻

※専攻は「文学科」「教育学科」受験の場合に記入してください。

第3問 問7 (横書き)

朱	子	学	は	君	臣	・	父	子	の
別	を	わ	き	ま	え	、	上	下	の
秩	序	を	重	ん	じ	る	学	問	で
あ	り	、	封	建	的	秩	序	の	維
持	に	役	立	っ	た	か	ら	。	

50

配点 点

第4問 問3

超	然	主	義
---	---	---	---

配点 点